

TOPICS

奈良県人口の自然増加率が初のマイナスに

厚生労働省が発表した2005年の人口動態統計によると、奈良県の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産むと推定される子供の数）は1.12で、全国第46位の低水準となった。高度経済成長時代以降、大阪などからの急激な人口流入で人口を増やした奈良県も、今や人口減少時代に入っている。

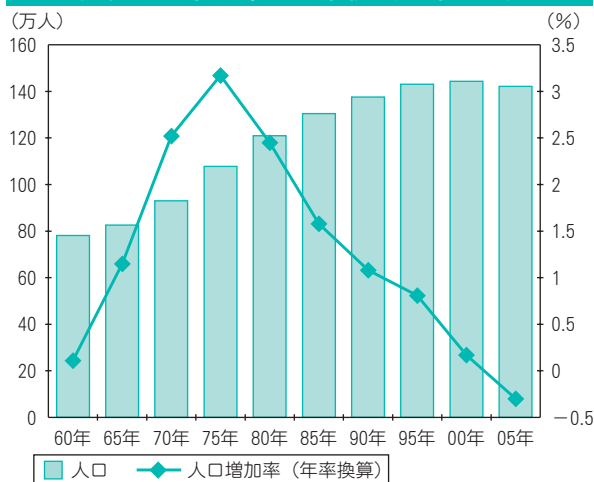
今回は、奈良県の人口増減状況にスポットをあててみていくこととする。

1. 人口総数および人口増加率

平成17年（2005年）の奈良県推計人口年報によると、奈良県の人口は142万5229人。これは、全国総人口（約1億2776万人）の約1.1%にあたる。

近年の奈良県人口推移を5年ごとに行われる国勢調査でみると（図表1）、1960年調査では前5年における人口増加率（年率換算）は0.11%だったが、それ以降増加ペースが速まり、15年後の75年調査では同増加率は3.17%まで一気に駆け上がっている。その後は一転して下がり続けて、直近の05年調査では△0.30%と、マイナスに転じている。ちなみに、国勢調査に基づく奈良県のピーク人口は2000年調査の144万2795人であった。

図表1 奈良県人口推移（5年ごと）

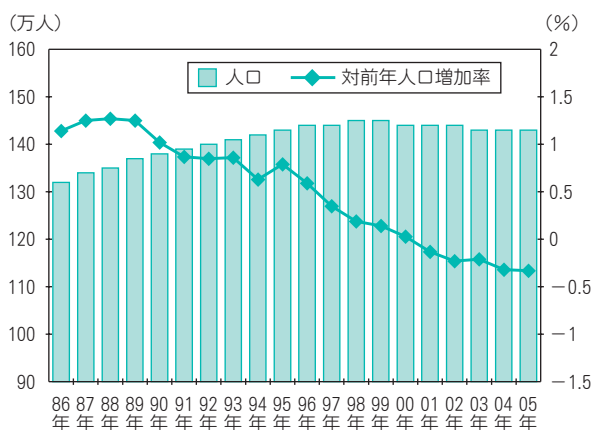


（資料：総務省統計局「国勢調査」）

次に平成17年（2005年）の奈良県推計人口年報により、1986年以降の1年ごとの人口推移を

見てみると（図表2）、86～90年まで1%を上回っていた対前年人口増加率は、97年に0.5%を、2001年には0%も割り込みマイナスに突入し、直近の05年には△0.33%となっている。

図表2 奈良県の人口推移（1年ごと）



（資料：奈良県「奈良県推計人口年報」（平成17年））

（注）90・95・00年の人口は国勢調査確定値で、増加率とは関係ない。

2. 人口動態

人口増加は、主に、出生数および死亡数の差である「自然増加」と県内外との転出入差である「社会増加」の2つに要因分解することができる。

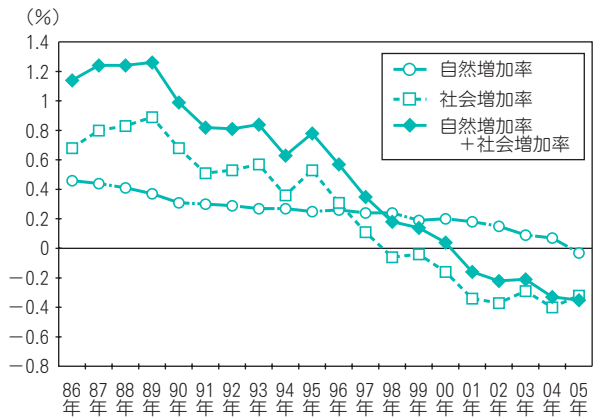
*）上記以外に「外国人増加」があるが、増減数が年間数百人までと規模が小さいため省略する。

図表3は、奈良県の人口増加率を「自然増加率」と「社会増加率」に分解して時系列で表したものである。これによると、県内外からの転入と転出の差である社会増加率は、年によりやや変動はあるものの低下基調が続き、98年にプラスからマイナスに突入し、ここ数年は△0.3～△0.4%で推移している。

一方、出生数と死亡数の差である自然増加率は、社会増加率よりも緩やかながらほぼ一貫して低下が続いている。グラフに見るように89年に0.4%を、さらに99年に0.2%を割り込み、直近の05年には△0.03%と、県が統計を取り始めた66年以降初めてのマイナスを記録している。

このように、奈良県の人口は社会増加も自然増加もともにマイナスとなったことで、今後、本格的な人口減少局面に突入することを意味する。

図表3 奈良県人口増加減率推移



(資料：奈良県「奈良県推計人口年報」(平成17年))

3. 人口流出はどこへ

平成16年(2004年)の「住民基本台帳人口移動報告年報」(総務省)によると、奈良県の人口転入率は全国平均と同じ2.09%。これに対し、人口転出率は2.43%と、全国平均(2.09%)を0.34ポイント上回っている。図表3でもみたとおり、現在のところ人口減少の大半は転出超過が原因となっている。

それでは、奈良県人口はどこへ流出しているのだろうか。図表4は平成17年(2005年)の奈良県推計人口年報により、奈良県人口の全国ブロッ

状況をみたものである。これによると、転出入数は近隣の府県である近畿ブロックが圧倒的に多い。一方、人口増減に関わる「転入-転出」をみると、全国すべてのブロックとの間で転出超となっており、とりわけ近畿ブロックと関東ブロックへの転出超の多いことがわかる。

図表4 奈良県と全国ブロック別移動状況

(単位：人)

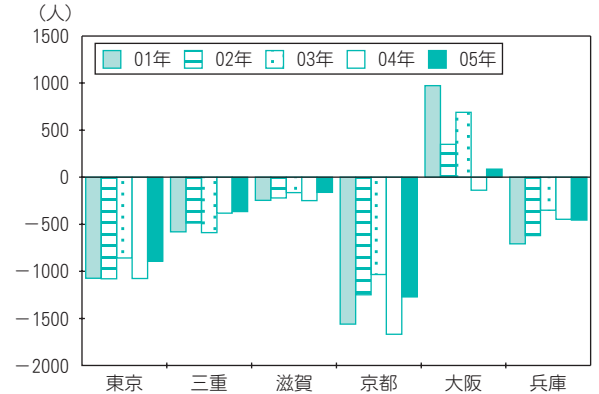
	転入	転出	転入-転出
北海道・東北	732	820	-88
関東	3,811	5,581	-1,770
中部	3,402	4,223	-821
近畿	17,258	19,123	-1,865
中国・四国	2,130	2,316	-186
九州・沖縄	1,599	1,690	-91
その他	1,578	1,400	178

(資料：奈良県「奈良県推計人口年報」(平成17年))

さらに、都道府県別の転出入状況を見てみると(図表5)、近畿ブロックでは「京都府」、関東ブロックでは「東京都」が特に大きい転出超となっている。

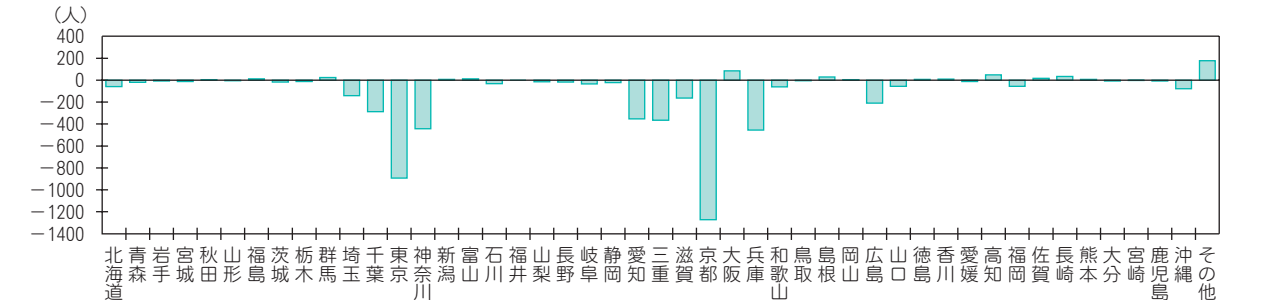
ちなみに、ここ5年間では京都府が奈良県の転出超過の最も多い先となっている。(図表6)

図表6 主要都府県との人口移動



(資料：奈良県「奈良県推計人口年報」(平成17年))

図表5 県外との人口移動



(資料：奈良県「奈良県推計人口年報」(平成17年))